

東洋英和女学院大学大学院

2016年度前期入学試験  
春季選抜 問題

人間科学研究科人間科学専攻  
修士課程 人間科学領域

(死生学系)

小論文

修士課程 死生学系 小論文

I. 出生前診断をめぐる倫理問題について、下記の用語をそれぞれ1回以上使用して、1200字以内で論じて下さい。解答文中において使用した用語に下線を付しておくこと。

用語:トリプル・マーカー・テスト、新型出生前診断、羊水穿刺

II. 昨年、安倍首相より新アベノミクスの3本の矢が放たれました。

そのうち2本目の矢は「出生率を1.8まで引き上げる」事でした。

3本目の矢は「介護離職率をゼロにする」という事でした。どちら

も不可能と思われませんが、現在、そしてこれから将来、更に深刻

になると予想される少子超高齢化問題を食い止めたいという願い

の現われであると思われます。この新アベノミクスの視点から、

現代の少子化と超高齢化社会の問題の現状分析を、以下の用語を

組み入れて1200字以内で論述して下さい

1) 非婚化 2) 孤族 3) 男女不平等 4) 育休

5) マタハラ 6) 下流老人 7) 老後破産 8) 生活保護

9) 介護離職 10) 2025年問題